

## 調査結果の概要

## 1. 調査結果

平成30年6月1日～7月2日まで、提供頂いた図面・仕上表からの書面調査、及び平成30年7月3日～7月19日の期間中計6日間実施した現地調査により、石綿使用の可能性のある箇所及び部材を選定し、8月25日、29日に分析試料として採取を実施した。

8月26日～8月31日に採取試料をJIS A 1481-2:2016の分析方法により、石綿定性分析（石綿有無判定の分析）を実施した。

以下の表は、選定・採取した部位及び部材を、またその試料の石綿定性分析結果を示す。

No.	階層	室名及び部位	部材名	定性分析結果	石綿含有時のレベル※
1	1階	大ホールロビー 壁	特殊ケイ酸板	無し	—
2		茶器室 天井	石綿セメント板	クリソタイル含有	3
3		倉庫（書庫） 天井	リシン吹付	無し	—
4		廊下1 天井	ケイ酸カルシウム板(1種)	クリソタイル含有	3
5	2階	廊下（小ホール側） 壁	ひる石マスター	無し	—
6		クロークルーム（小ホール側）天井	有孔石膏ボード	無し	—
7	3階	ロビー（国際会議室側）配管（エボク部）	ケイ酸保温材	無し	—
8	4階	映写室（小ホール側） 天井	ひる石マスター	無し	—
9		整流器室 壁	リシン吹付	無し	—
10		整流器室 タクト	パッキン	クリソタイル含有	外
11		廊下（放送室）天井	有孔石膏ボード	無し	—
12	地下1階	廊下 ケーブル貫通部	パテ（黒）	無し	—
13		廊下 ケーブル貫通部	パテ（灰）	無し	—
14		廊下 ケーブル貫通部	パテ（白）	無し	—
15	外部	軒天	ケイ酸カルシウム板	クリソタイル含有	3
16	煙突棟	外壁	吹付タイル	クリソタイル含有	1

※ 各レベル区分に該当する石綿含有建材は下記の通りである。

レベル1	①吹付け石綿	レベル2	⑤石綿含有保温材（吹付け材を除く）
	②石綿含有吹付けロックウール		⑥石綿含有断熱材（吹付け材を除く）
	③石綿含有吹付けパーミュライト		⑦石綿含有耐火被覆材（吹付け材を除く）
	④石綿含有吹付けパーライト	レベル3	⑧その他の石綿含有建材（成形板等）
		レベル外	⑨上記のレベル以外の石綿含有製品をいい、本案件ではパッキンが該当する。

レベル1 (No.16試料が該当)

- ・著しく発じん性が高い部材であり、解体等の作業において安衛法に基づく「工事計画届」・石綿則に基づく「作業届」、大防法における特定粉じん排出等作業届が必要となる部材。

レベル2

- ・発じん性が高い部材であり、解体等の作業において石綿則に基づく「作業届」、大防法における特定粉じん排出等作業届が必要となる部材。

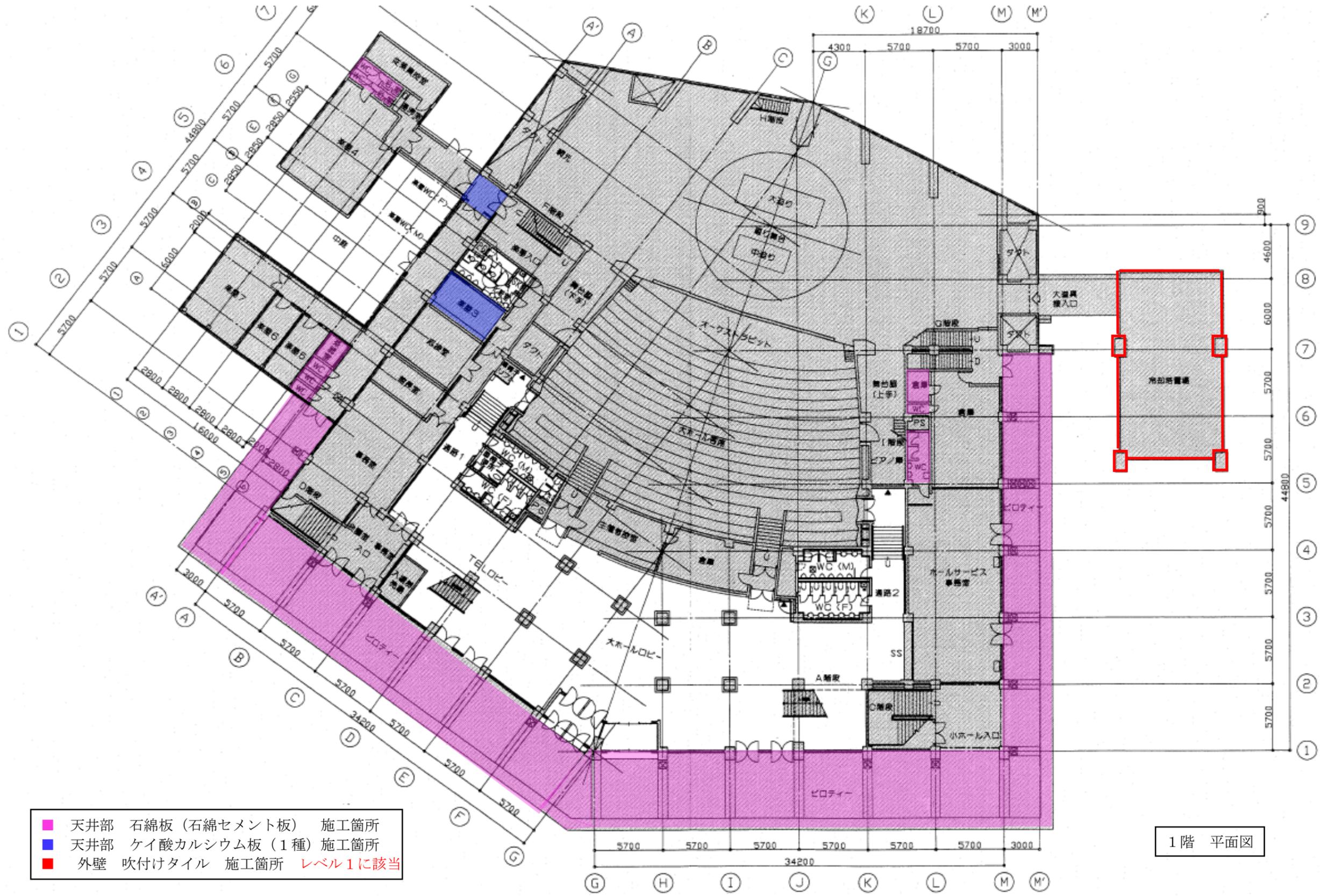
レベル3 (No.2、4、15試料が該当)

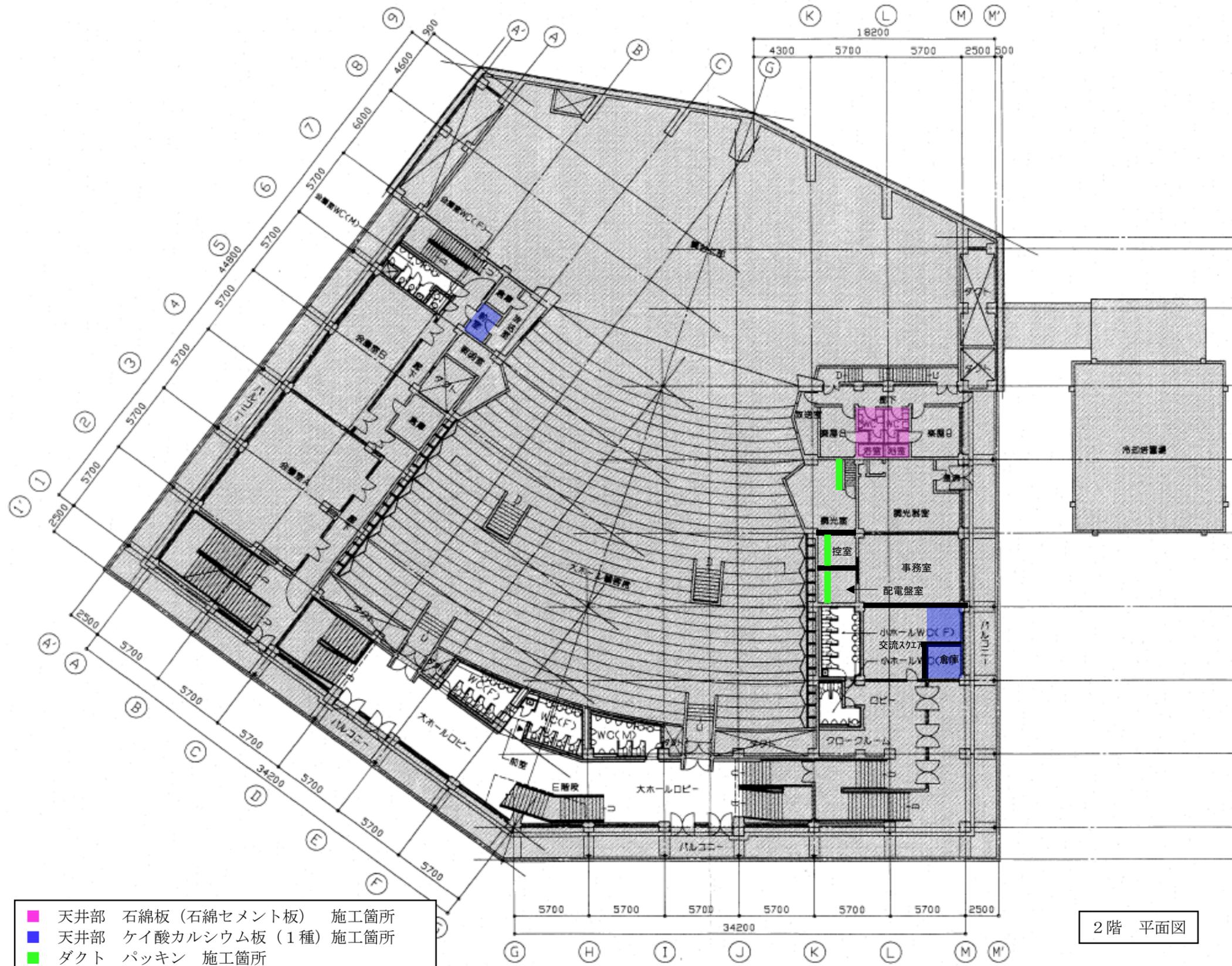
- ・発じん性が比較的低い部材であり、安衛法・石綿則・大防法に基づく届出が不要となる部材。

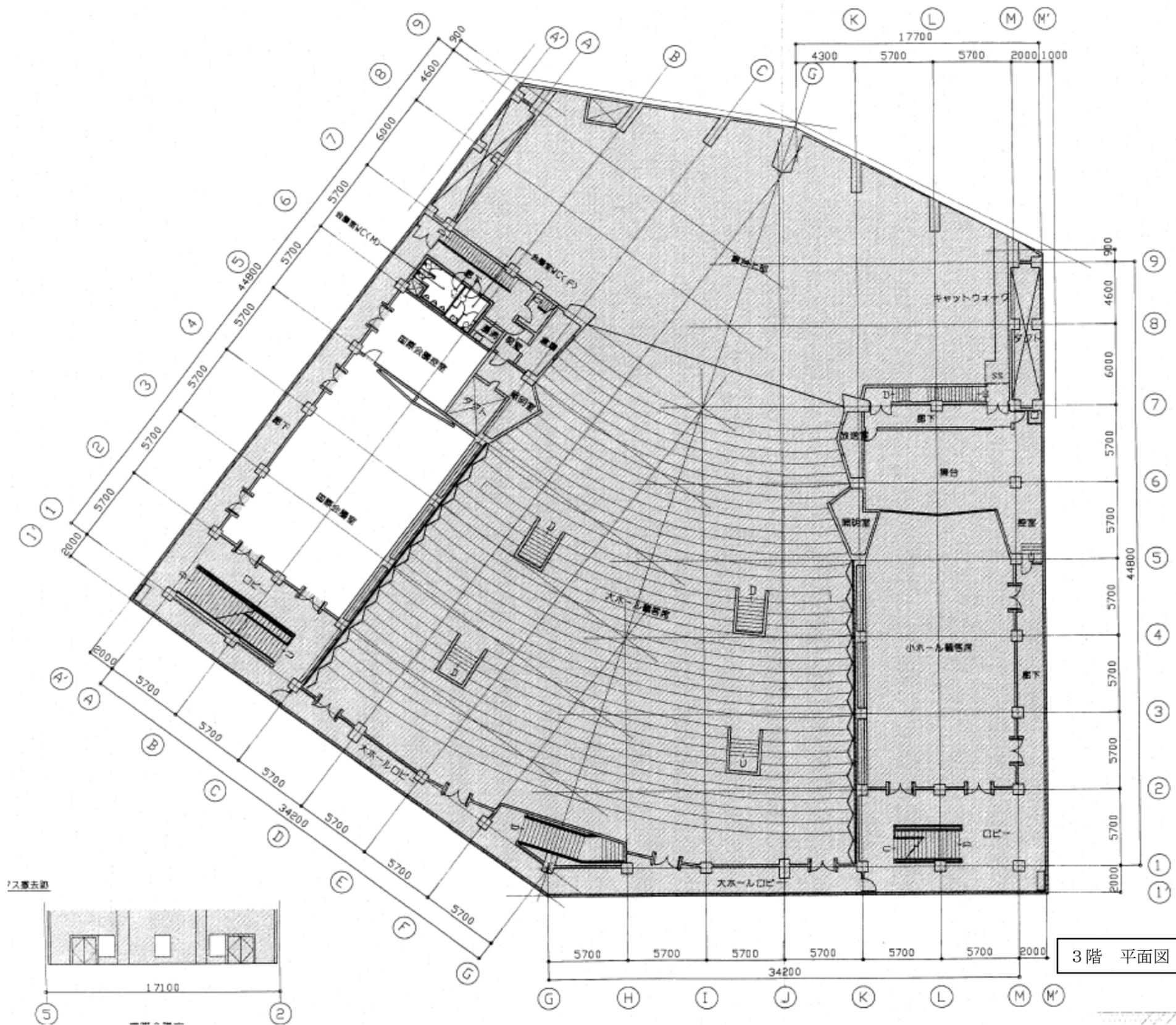
レベル外 (No.10に該当)

- ・上記のレベル1～3の部材（建材製品）には該当しない部材である。解体工事時の除去方法や、その部材の飛散性により、レベルが1～3のいずれかに振り分けられる部材。

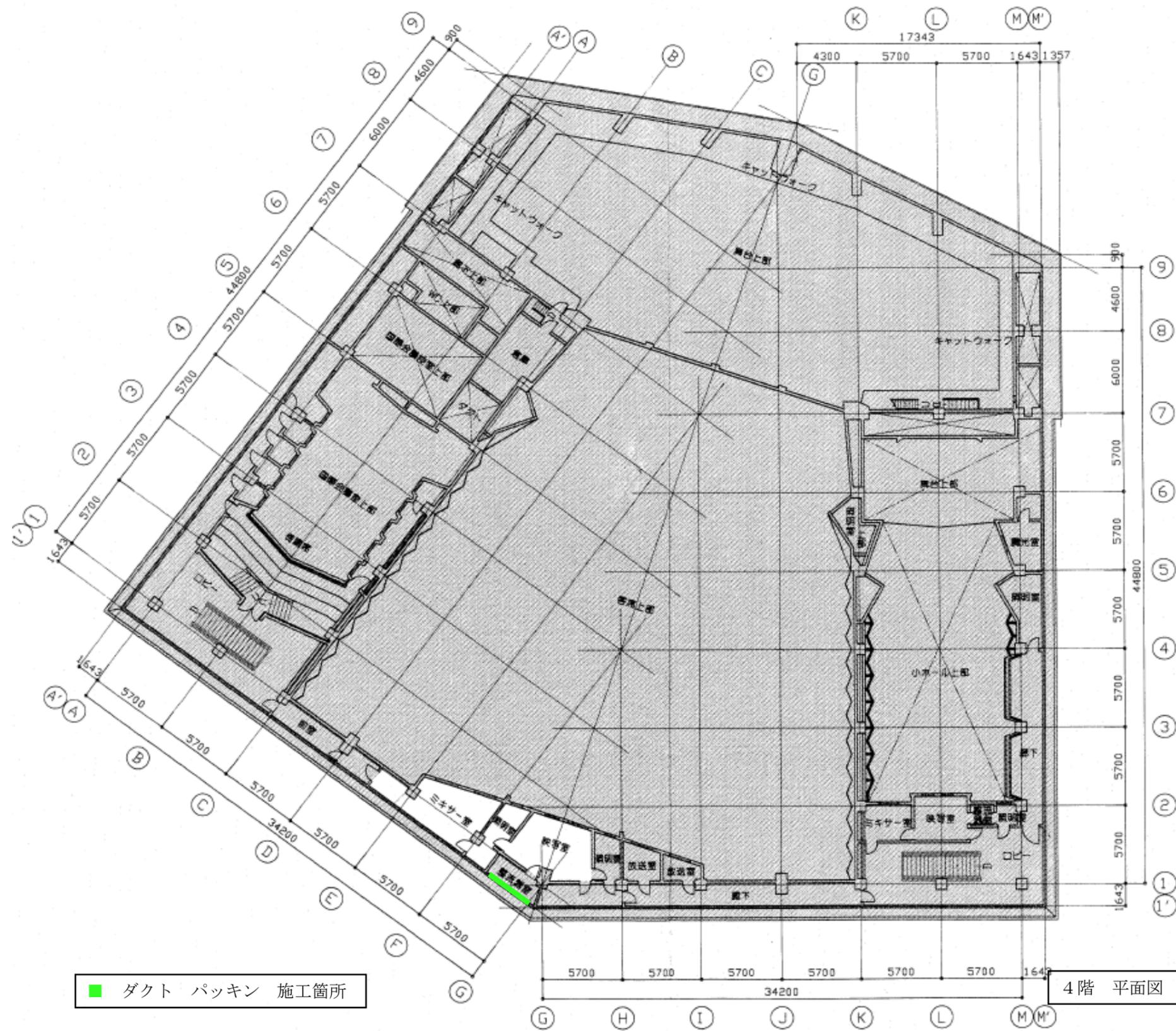
4. 石綿使用箇所平面図





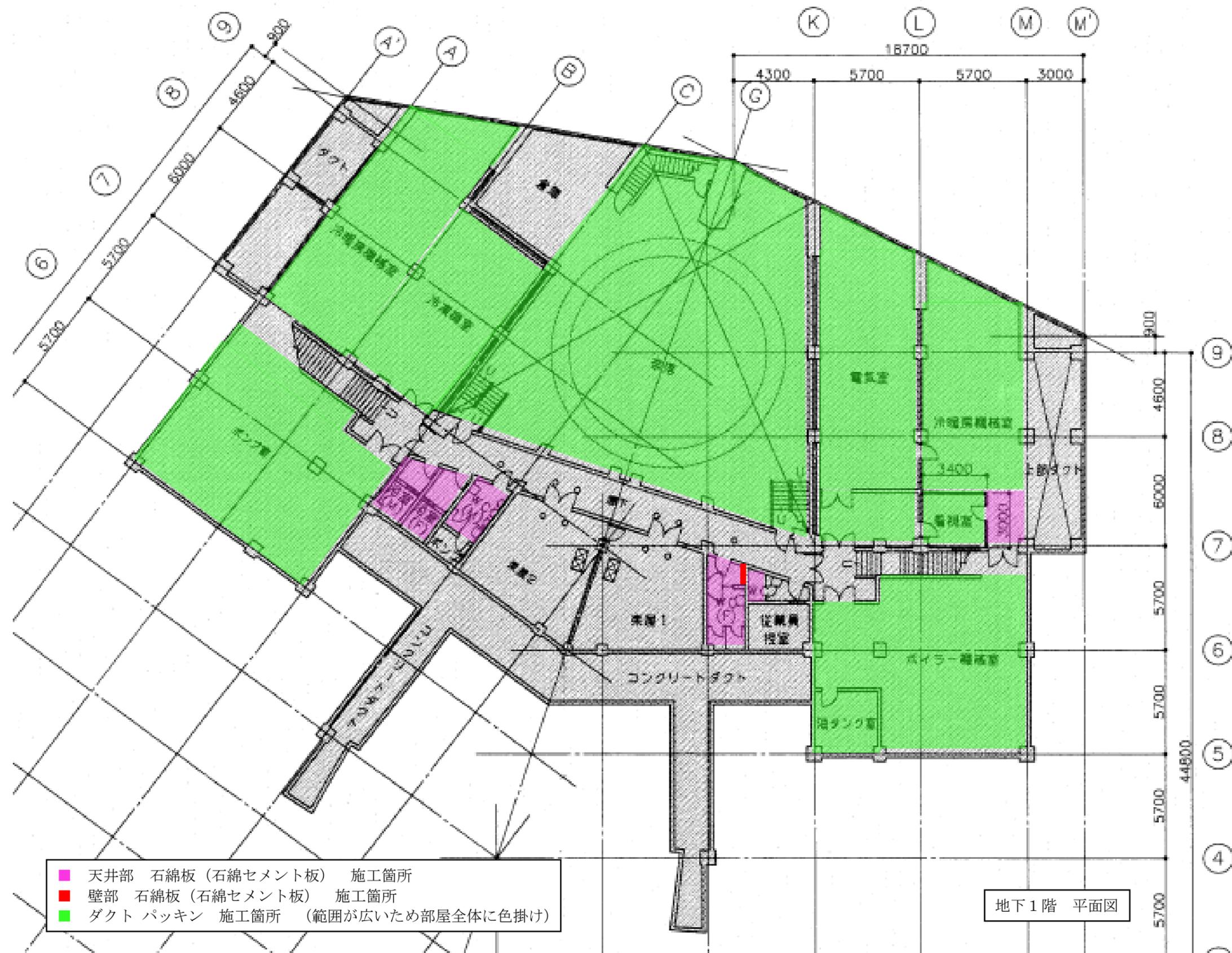


3階 平面図



■ ダクト パッキン 施工箇所

4階 平面図



- 天井部 石綿板 (石綿セメント板) 施工箇所
- 壁部 石綿板 (石綿セメント板) 施工箇所
- ダクト パッキン 施工箇所 (範囲が広いので部屋全体に色掛け)

地下1階 平面図